

■第3回勉強会の概要

開催方法：動画配信・動画視聴会

期 間：令和3年7月2日（金）～7月16日（金）

※7月16日に東五軒町地域交流館にて、動画視聴会開催



（動画視聴会の様子）

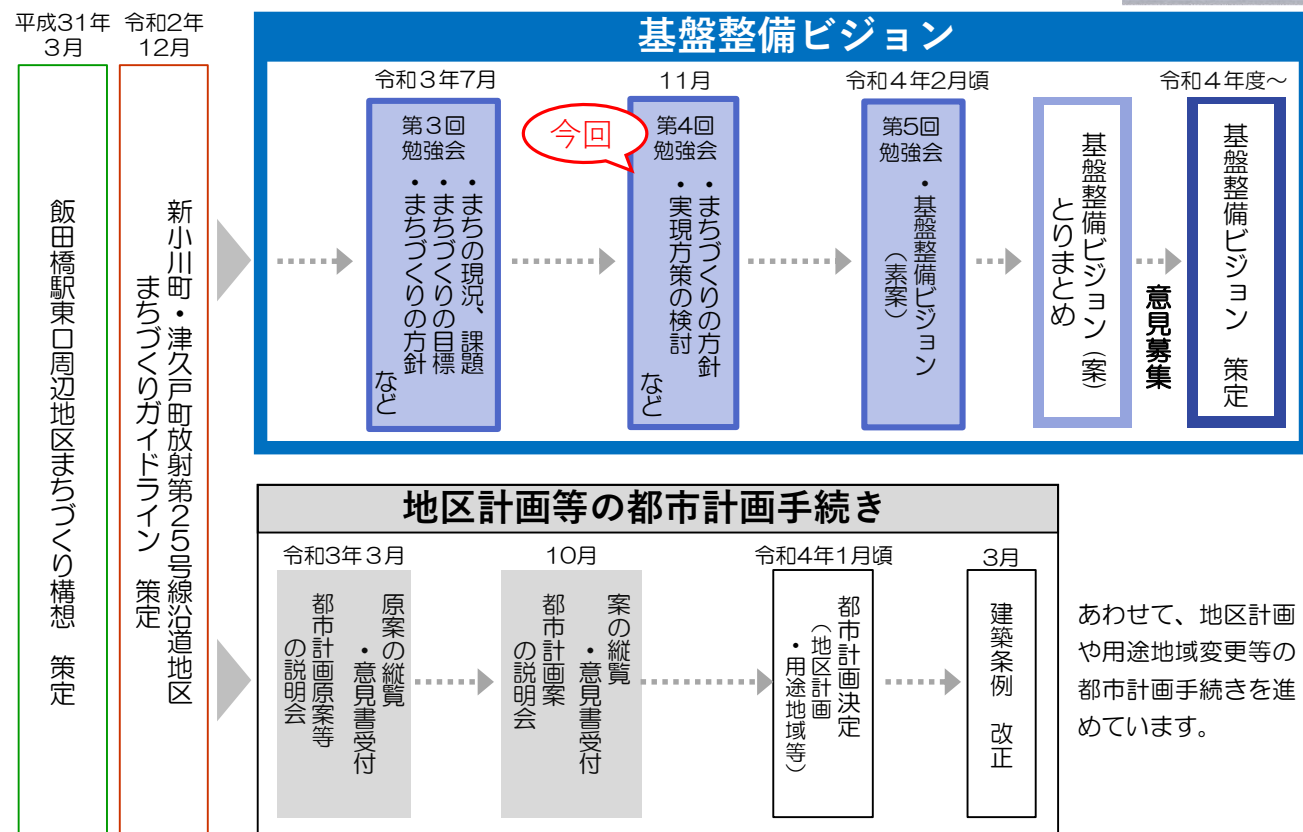
■第3回勉強会での主なご意見（4名）

- ・まちづくりが立ち遅れていると感じている。開発が進むことを期待している。
- ・コロナ禍においては動画配信をすべきだが、対話や意見交換も検討してほしい。
- ・基盤整備のイメージ図を示すのではなく、様々な可能性を選択・実現できる表現（目標と方針）に留めた方がよい。
- ・人々が容易に行き来できるネットワークを整備する事により、地域の活性化が図られると思う。
- ・大規模なオフィス等が進出されれば、昼夜を問わず人が集まり、当地区のブランド力、ポテンシャルも一層高まると考える。
- ・緑地や大型スーパーの整備、理想の職場の実現など、便利なまちにするには再開発が必要。

ご意見・ご来場ありがとうございました。

■今後の進め方（予定）

現在、新宿区では、基盤整備ビジョンの策定に向けて検討を行っています。あわせて、地区計画や用途地域変更等の都市計画手続きを進めています。



【問合せ先】 ご意見・ご質問等ございましたら下記までご連絡下さい。

新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課 担当：矢萩、五藤、多久田、北村
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号
電話：03-5273-3569（直通） FAX：03-3209-9227

【発行】新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課

飯田橋駅前地区

まちづくりニュース

第6号

令和3年11月

第4回まちづくり勉強会を開催します！

新宿区は飯田橋駅前地区のまちづくり方針を示す「（仮称）飯田橋駅前地区基盤整備 ビジョン（以下「基盤整備ビジョン」）」の策定に向けて検討しています。

第4回まちづくり勉強会では、まちづくりの方針、実現方策の検討についてご説明します。

なお新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、動画を視聴していただく方式とします。ご理解の程よろしくお願いします。



■第4回まちづくり勉強会の開催方法

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、以下の方法で開催します。

詳細は
同封の別紙を
ご覧ください

① 動画配信によるご説明

「飯田橋駅前地区のまちづくり」のページ内のリンクから、第4回まちづくり勉強会の動画（約30分）をご視聴ください。

http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/keikan01_002153_00001.html

配信期間 令和3年11月4日（木）～ 12月10日（金）17時

動画再生には大量のデータ通信が発生します。

スマートフォンやタブレットでご視聴される場合は、Wi-Fi環境での動画再生を推奨します。



② ご意見の受付

FAX・郵送で、まちづくりへのご意見をお寄せください。

受付期限 令和3年11月26日（金）まで

11月15日までに頂いたご意見を、11月22日に区ホームページの「飯田橋駅前地区のまちづくり」にて、中間報告いたします。ご意見の参考にしてください。



③ 動画をご覧になれない方へ

予約制

ご自宅などに動画視聴環境をお持ちでない方向けに、動画をご視聴いただける会場をご用意します。



■第4回まちづくり勉強会の主な内容

飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン策定に向けた検討

- ・まちづくりの方針（都市基盤、公共的空間、まちの機能）
- ・実現方策の検討 など

<ご報告> 第3回勉強会 (令和3年7月開催)

令和3年7月に開催しました第3回勉強会では、まちの現況・課題、まちづくりの目標・方針及び基盤整備イメージについてご説明しました。

基盤整備ビジョンについて

飯田橋駅前地区のまちづくり方針を示す基盤整備ビジョンの策定に向けて検討しています。

(仮称) 飯田橋駅前地区 基盤整備ビジョン (新宿区)

■背景

飯田橋駅東口周辺地区まちづくり構想では、飯田橋駅東口周辺の再整備に関する方針と手法の検討」に取り組むこととしています。

これを踏まえ、当地区のまちづくりの方針を示す基盤整備ビジョンを策定する予定です。

■基盤整備ビジョンの役割

基盤整備ビジョンを策定することにより、今後想定される再開発等の機会を捉えて都市基盤等の整備を適切に誘導し、飯田橋駅前地区のまちづくりを推進します。



飯田橋駅東口周辺地区
まちづくり構想
平成31年3月策定
飯田橋駅東口周辺地区
まちづくり協議会

新小川町・津久戸町
放射第25号線沿道地区
まちづくりガイドライン
(令和2年12月策定
新宿区)

飯田橋駅周辺
基盤再整備構想
令和2年9月策定
飯田橋駅周辺
基盤整備方針検討会※

※東京都、新宿区、千代田区、文京区
鉄道事業者等で構成される検討会

まちづくりの目標及び方針

まちづくりの目標

『歴史と暮らし・賑わいが多層に重なり合い誰もが快適に過ごせる水とみどりの飯田橋』
～住む人・働く人・訪れる人など、子供から高齢者まで誰にとっても快適なまち～

まちづくりの主な方針

都市基盤

多層に行きかうことができる
安全で快適な歩行者空間の形成

- 駅とまちをつなぐバリアフリー動線の整備促進 (デッキ、縦動線の整備 等)
- 地区内及び周辺地域との回遊性の強化
- 自動運転などの次世代技術の活用を検討

公共的空間

多層に繋がる
賑わいと潤いあふれる空間の創出

- 外濠等と連携した厚みとつながりのあるみどりの創出
- 坂道を活かした多層に繋がる広場空間の整備促進
- まちの顔となる印象的な滞留空間の整備促進

まちの機能

利便性を活かした
都市機能の充実

- 良質なオフィス・住宅の整備促進
- 健康長寿社会に対応した機能の誘導
- 帰宅困難者を対象とした一時滞在施設や一時滞留スペースの確保
- カーボンマイナスなど、環境に配慮した取組の促進



まちの現況・課題

テーマごとに、まちの魅力や課題を整理しました。



まちの主な課題

高低差・道路

- まちの高低差、急勾配な坂道 (大久保通り、軽子坂 等)
- 混雑する時間帯には歩道の幅員が狭く感じられる (大久保通り、目白通り 等)

歩行者ネットワーク

- 駅からまちへのバリアフリー化が不十分 (歩道橋、地下鉄出入口など)
- 駅までの地上・地下の動線が複雑
- 地下鉄駅の位置が分かりにくい
- まちの回遊性の強化が必要

土地利用

- 日常の買い物が出来る生活利便施設が不足している

防災

- 地区内に一時滞在施設がない
- 地区の一部が浸水想定区域及び液状化の可能性がある地域になっている

みどり、オープンスペース

- 当地区は新宿区内でもみどりが少ない
- オープンスペースや緑地が少ない

まちの変化

- 既存建物や交通基盤施設 (五差路歩道橋等) の老朽化

まちの主な魅力

- 交通利便性が高い
- まちの歴史 (神社仏閣、坂)
- 数多い医療施設、多様な用途の集積
- 外濠や神田川などの水とみどり

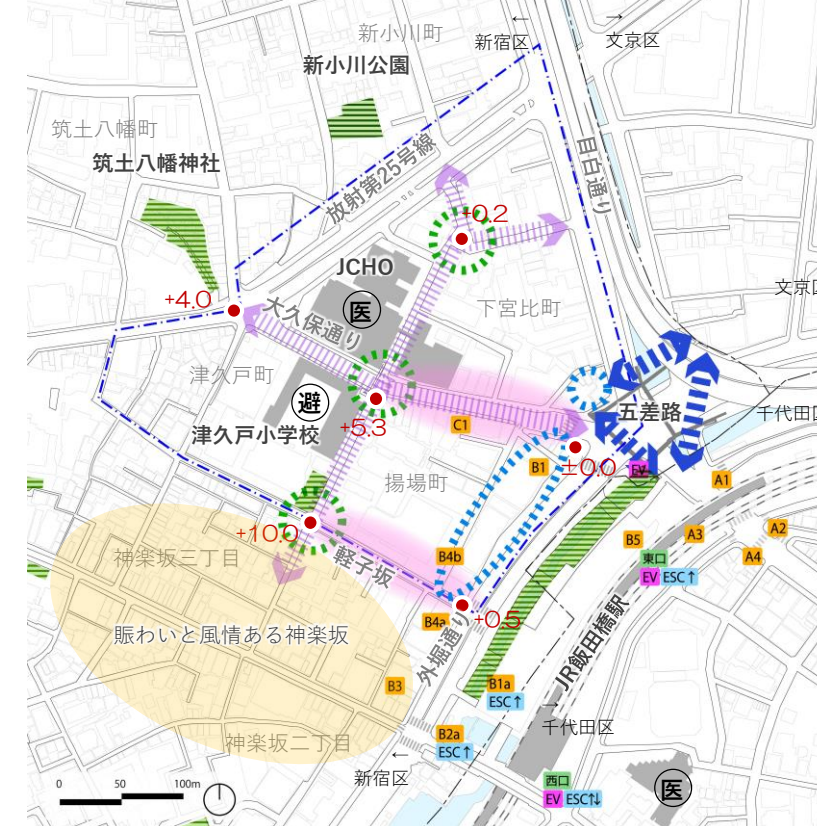
その他

- 社会情勢の変化への対応 (ニューノーマルなど)
- JR飯田橋駅のホームが西側に約200m移設

基盤整備イメージ〈議論用〉

まちづくり方針の実現に向けて、再開発等を活用したデッキなどの都市基盤や広場などの公共的空間の整備イメージを示します。

このイメージ図は位置や大きさを限定するものではなく、整備の考え方を示しています。



- 歩道橋の機能強化
- 周辺地区との回遊性の強化
※飯田橋駅周辺基盤再整備構想に基づき記載
- 縦方向の動線強化
- まちの顔となる印象的な滞留空間の整備
※飯田橋駅周辺基盤再整備構想に基づき記載
- 駅とまちをつなぐバリアフリー動線の整備
- 憩いや交流の場となる滞留空間の整備
- 地区内及び周辺地域との回遊性の強化

<凡例>

- 当該地区
- 五差路周辺を±0.0mとした概ねの高低差 (±0.0 = T.P.+4.3) (※1)
- EV ESC1 駅出入口
- B2a
- 公園・緑地・オープンスペース
- Ⓔ 医療機関 (※2)
- Ⓕ 避難所 (※2)
- ※1: T.P.は東京湾平均海面を表す
- ※2: 東京都防災マップより